

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	百里基地周辺対策事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			02	01	13	07		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 循環型社会の形成						市民協働	市民の関与
	[1] 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課
1 環境保全								環境保全係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部（D0）

【目的】 自衛隊の特定の行為により生ずる損失を補償することにより、関係住民の安定及び福祉の向上に寄与する。	【関連事業】	
【期待される効果】 区域内住宅の騒音を軽減する。	【対象者】 防衛省騒音補助対象区域内の新入住民。	
【全体概要】 百里飛行場航空機騒音対策事業等に関する事。	【特記事項】 平成27年度より、成果指標の見直しにより、補助件数（百里飛行場航空機騒音対策戸数）に変更。	
【平成25年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。（25年度実績なし）	【平成26年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。（26年度実績なし）	【平成27年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	50
	自主財源	0	0	50
歳入計（千円）		0	0	100
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	0	0	100
歳出計（千円）（A）		0	0	100
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆増 予
職員人工数		0.30	0.20	-51.9
職員人件費（B）		2,418	1,543	636
総事業費（A）＋（B）		2,418	1,543	736

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	要望等に関する打合せ	回	目標	1.00	1.00	1.00
	周辺自治体との調整		実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	国に対しての要望回数	回	目標	1.00	1.00	0.00
	防衛施設周辺整備対策に対する要望		実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 騒音対策は住民の福祉向上の観点から必要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 住民の福祉向上につながるため不可欠である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 補助対象区域内の新入住民に対し、申請があった場合、補助する事業のため成果の向上は求めない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 市民への直接的な影響を与えるため、廃止休止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 本事業は県と市がそれぞれ50%の補助事業であり、騒音対策工事等の実績に基づく事業に要する予算項目の一時確保分であり、削減余地がない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 補助対象区域内限定である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		記入者: 田崎 守一
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 防衛施設周辺住民の生活環境の整備のため継続して実施する。 NHK放送受信料等の助成対象区域拡大を要望していく。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		記入者: 根本 一良
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 周辺住民の環境保全のため、継続して実施する。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

# 事務事業評価シート

事務事業名		環境美化事業（政策）						事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			04	01	06	03	政策経費			
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり							総合計画対象	対象	
	第4節 循環型社会の形成							市民協働	市民主体	
	[1] 環境保全・公害							担当課係等	環境保全課	
2 環境美化の推進							環境保全係			
事業期間	継続（年度～）									

## 現状把握の部（D0）

【目的】		【関連事業】
市内道路周辺の清掃や、緑化運動を推進し、快適な生活環境づくりに寄与する。		
【期待される効果】		【対象者】
かすみがうら市を快適で住みやすい環境にする。		市民全体
【全体概要】		【特記事項】
かすみがうら市全域において、市民参加のボランティア活動による周辺道路の一斉清掃（5月・8月・3月）や、緑化推進協議会員並びに市民によるフラワーロード及び市内の花壇の管理を行ってもらい、快適な生活環境づくりに努める。		
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】
フラワーロード及び市内花壇の管理。5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施。東風高校前花壇にツツジを植栽する。	フラワーロード及び市内花壇の管理。5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施。東風高校前花壇の植栽を継続する。	フラワーロード及び市内花壇の管理。5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施。

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,880	4,558	4,243
歳入計（千円）		4,880	4,558	4,243
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	205	279	309
	12 役務費	60	60	60
	13 委託料	1,615	1,219	1,274
	19 負担金、補助及び交付金	3,000	3,000	2,600
歳出計（千円）（A）		4,880	4,558	4,243
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -6.91 予 -11.3
職員人工数		1.50	0.95	0.74
職員人件費（B）		12,090	7,328	5,883
総事業費（A）＋（B）		16,970	11,886	10,126

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	フラワーロード(霞ヶ浦地区)の花壇数	箇所	目標	220.00	220.00	220.00
	花を植栽している花壇		実績	228.00	203.00	0.00
	広報回数	回	目標	2.00	2.00	3.00
	広報誌やホームページによる啓発		実績	2.00	3.00	0.00
成果 指標	イベント(フェスティバル)参加者数	人	目標	90.00	88.00	90.00
	参加人数		実績	88.00	85.00	0.00
	清掃参加者数	人	目標	18,500.00	17,500.00	17,200.00
	参加人数		実績	17,382.00	17,066.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市民の快適な生活環境づくりに必要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 住民サービスの向上の一環であり不可欠である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 一斉清掃活動参加者の増加及びフラワーロード空き花壇の減少等、PR活動の工夫が必要である。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 環境美化が失われ、住民サービスに多大な影響がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 収集業務委託の効率化、企業努力によりコスト削減は可能と思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市内一斉であり公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 緑化事業は、ボランティアによる地域緑化活動であることから、ボランティア数を含めた、協力体制等を把握しながら、状況により、今後の花壇数について対応を検討をする必要がある。清掃事業については、市の事業として定着しており、継続して実施する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 緑化推進事業は、ボランティア団体の協力による実施事業であることから、協力団体と連絡を取り合い、今後の事業推進等を検討する。		

計画対象年度	平成26年度							<b>事務事業評価シート</b>			
事務事業名	公害防止対策事業（政策）							事業類型	業務委託		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			04	01	06	05	政策経費				
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり							総合計画対象	対象		
	第4節 循環型社会の形成							市民協働	行政主体		
	[1] 環境保全・公害							担当課係等	環境保全課		
4 公害の防止							環境保全係				
事業期間	継続（年度～）										

現状把握の部（D0）

【目的】	市内の環境を継続的に監視し、快適な生活環境づくりに寄与すると共に環境保全の向上を図る。			【関連事業】	
【期待される効果】	かすみがうら市を公害及び苦情のない住みやすい街にする。			【対象者】	市内全域
【全体概要】	市内の河川水質、地下水、工場・事業場排水、ゴルフ場内からの排水（農薬）、土壌の現状を調査し、環境基準の達成状況を把握する。			【特記事項】	活動指標の下土田残土現場及び周辺河川等の年間水質検査回数を水質検査箇所数へ変更し、活動と成果を同じ単位とした。
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】			
河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（19箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所13箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。	河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（18箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所13箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音・振動調査を行う。	河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所13箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。			

■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度						
財源	国庫支出金	0	0	0						
	県支出金	0	0	0						
	自主財源	3,269	3,350	4,296						
歳入計（千円）		3,269	3,350	4,296						
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）						
	09 旅費	6	0	0						
	11 需用費	4	0	27						
	12 役務費	0	18	0						
	13 委託料	3,238	3,272	4,256						
	14 使用料及び賃借料	21	60	13						
歳出計（千円）（A）		3,269	3,350	4,296						
（参考）		当初予算額	0	当初予算額	4,863	伸び率(%)	決	28.23	予	-11.6
職員人工数		1.00	0.55	0.48						
職員人件費（B）		8,060	4,243	3,816						
総事業費（A）＋（B）		11,329	7,593	8,112						

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	ゴルフ場水質検査箇所数	箇所	目標	13.00	13.00	13.00
	市内で調査を行っているゴルフ場の箇所数		実績	13.00	13.00	0.00
	下土田残土現場水質調査	回	目標	2.00	2.00	0.00
	残土現場及び周辺河川等の年間水質検査回数		実績	2.00	2.00	0.00
成果 指標	ゴルフ場排水基準の達成率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	ゴルフ場からの排水が基準値内である割合		実績	100.00	100.00	0.00
	下土田残土現場水質調査	箇所	目標	8.00	8.00	8.00
	残土現場及び周辺河川等の水質検査箇所数		実績	8.00	8.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 公害及び苦情のない住みやすい環境の構築に必要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 公共性の高い事業であり、行政関与が妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 今後も生活環境保全のため、必要な調査及び検査を継続して実施していくが、状況に応じて調査箇所等を見直していく。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 行政の監視体制がなくなり、市民生活に多大な影響を及ぼす恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 各種調査業務委託の見直しにより、コストの削減は可能と考える。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市内全域対象であり、公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 河川湖沼などの公共水域及び地下水の汚染を防止するため、水質の常時監視を継続して実施する。特定施設の調査については経緯をみながら調査方法等の工夫をする。市民の健康の保護と生活環境の保全に努めるため、必要な調査を実施していく。調査の結果に基づき適切な指導を実施する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 河川・湖沼などの公共水域及び地下水の汚染を防止するため、水質や土壌の常時監視を継続して実施する。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

# 事務事業評価シート

事務事業名		一般廃棄物処理事業（政策）						事業類型	業務委託		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			04	01	06	09	政策経費				
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり							総合計画対象	対象		
	第4節 循環型社会の形成							市民協働	行政主体		
	[2] 廃棄物処理							担当課係等	環境保全課		
1 ごみ、し尿処理の改善							環境保全係				
事業期間	継続（ 年度～ ）										

## 現状把握の部（D0）

【目的】		【関連事業】	
各種ごみ収集運搬を実施することで、市民の快適な生活環境を実現する。			
【期待される効果】		【対象者】	
ごみ収集運搬を適正に行うことで、市民の快適な生活環境を保全する。		市民全体	
【全体概要】		【特記事項】	
一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの日程に従って収集する。委託により可燃ごみ、不燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、資源ごみ、粗大ごみのステーション方式による収集を行っている。		実情に合わせ指標内容を変更した。	
【平成25年度 事業内容】		【平成26年度 事業内容】	
一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの収集日程に従って収集する。		一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの収集日程に従って収集する。一般廃棄物処理基本計画を策定した。	
		【平成27年度 事業内容】	
		一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。また、霞台厚生施設組合に新たに加入し、ごみ処理建設を推進する。	

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	100,909	115,425	363,642
歳入計（千円）		100,909	115,425	363,642
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	100	241	303
	13 委託料	100,809	115,184	111,777
	19 負担金、補助及び交付金	0	0	251,562
歳出計（千円）（A）		100,909	115,425	363,642
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 215.0 予 224.5
職員人工数		1.00	0.75	1.10
職員人件費（B）		8,060	5,785	8,745
総事業費（A）＋（B）		108,969	121,210	372,387

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	年間のごみ収集日数	日	目標	304.00	303.00	0.00
	委託業者による収集		実績	304.00	303.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	ごみ収集量	トン	目標	15,120.00	14,615.00	0.00
	1年間のごみ収集量		実績	14,615.00	14,181.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 家庭系一般廃棄物収集に関する事業であり、集積所からステーション方式による収集業務委託を実施している。市民の快適な生活環境の実現のため不可欠な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 公共性の高い事業であり、行政主体が基本と思われる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> ごみ収集運搬業務の検証及び見直しを行い、きめ細かい丁寧な収集を指導する。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 清潔で快適な市民生活が損なわれる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 生ごみ処理機の普及促進等により、ごみの量を減らし収集業務委託経費の削減に努める。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市内全域対象により、公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行通り続行。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 田崎 守一
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 収集委託料を削減するためには、ごみの減量が必要なことから、ごみ減量化の啓発活動を積極的に展開する。円滑な収集をはかるため、ごみの分別指導を実施する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 根本 一良
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) ごみ減量化を推進し、資源物のリサイクルを図る。		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

# 事務事業評価シート

事務事業名	リサイクル推進事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			04	01	06	11		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 循環型社会の形成						市民協働	市民の関与
	[2] 廃棄物処理						担当課係等	環境保全課
2 リサイクルの推進								環境保全係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部（D0）

【目的】	市民がごみの分別、リサイクル、資源化及び減量に積極的に取組み資源循環型社会を目指す。	【関連事業】
【期待される効果】	市民のごみ分別意識の向上、リサイクル率の向上、ごみの減量化、地球温暖化の抑止等	【対象者】
		市内各世帯及び子ども会等 団体
【全体概要】	団体登録を募集し、有価物団体登録をした子ども会等での資源物集団回収に対して補助金を交付する。生ごみ処理機等を設置した世帯に対しても補助金を交付する。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】	子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。	【平成26年度 事業内容】
		子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。
【平成27年度 事業内容】	子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。	

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	84	25	100
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,255	1,005	1,270
歳入計（千円）		1,339	1,030	1,370
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	95	0	100
	11 需用費	49	31	35
	19 負担金、補助及び交付金	1,195	999	1,235
内訳				
歳出計（千円）（A）		1,339	1,030	1,370
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.50	0.55	0.50
職員人件費（B）		4,030	4,243	3,975
総事業費（A）＋（B）		5,369	5,273	5,345
				伸び率(%) 決 33.00 予 0.00

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	補助金交付団体数	団体	目標	42.00	42.00	44.00
	子ども会等の団体数		実績	42.00	44.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	回収した資源物	トン	目標	200.00	206.00	200.00
	子ども会等で回収した資源物量		実績	206.00	194.00	0.00
	生ごみ処理機の補助件数	件	目標	20.00	44.00	25.00
	電気式、コンポスト、EM菌利用生ごみ処理機を設置した件数		実績	44.00	23.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 循環型社会形成の推進は、環境部門の政策のめだまである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 行政主導で推進している事業であり、妥当性が高いと考える。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 資源物回収促進及び生ごみ処理機の使用促進等、普及啓発活動を更に推進していく。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 循環型社会形成の推進に悪影響を及ぼす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 循環型社会形成の推進に必要な経費（補助金）であり、事業費の削減は成果の低下に直結すると思われる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市内各世帯及び子ども会等の団体が対象であり、公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行通り続行。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：田崎 守一
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 事業活動を通して、ごみのリサイクルや減量化の認識を養う。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：根本 一良
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業活動を通して、リサイクルやごみ減量化の認識を養う。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	環境保全推進事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			04	01	06	13	政策経費	根拠法令
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 循環型社会の形成						市民協働	市民の関与
	[1] 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課
1 環境保全								環境保全係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部（D0）

【目的】 啓発活動等を行い地球温暖化の防止に寄与する。	【関連事業】
【期待される効果】 温室効果ガス削減、地球温暖化の抑止。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 県や県から委嘱されている地球温暖化防止活動推進員等と協力し、温室効果ガス削減の啓発活動等を行う。太陽光発電システム設置に対して補助金を交付する。	【特記事項】 太陽光補助実績 平成24年度104件、平成25年度103件、平成26年度84件  実情に合わせて成果指標内容を変更した。（啓発品配布枚数を削除）（太陽光発電補助件数⇒設置戸数）
【平成25年度 事業内容】 県及び地球温暖化防止活動推進員等と協力し、温室効果ガス削減の啓発活動等を行う。太陽光発電システム設置補助金の交付を行う。	【平成26年度 事業内容】 県及び地球温暖化防止活動推進員等と協力し、温室効果ガス削減の啓発活動等を行う。太陽光発電システム設置補助金の交付を行う。
【平成27年度 事業内容】 県及び地球温暖化防止活動推進員等と協力し、温室効果ガス削減の啓発活動等を行う。	

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	9,779	7,358	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	9,853	8,692	0
	歳入計（千円）	19,632	16,050	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	4	0	0
	11 需用費	43	34	0
	19 負担金、補助及び交付金	19,585	16,016	0
歳出計（千円）（A）	19,632	16,050	0	
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	20,152
職員人工数	1.00	1.95	伸び率(%)	決
職員人件費（B）	8,060	15,041	皆減	予
総事業費（A）＋（B）	27,692	31,091	皆減	

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	啓発活動数	回	目標	4.00	4.00	4.00
	温室効果ガス削減の啓発活動数		実績	4.00	4.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	配布枚数	%	目標	100.00	100.00	0.00
	啓発活動で用意した啓発用品を配布できた割合		実績	100.00	100.00	0.00
	太陽光発電システム設置補助件数	件	目標	100.00	100.00	0.00
	太陽光発電システムを設置した住宅へ補助した数		実績	103.00	84.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 地球温暖化防止対策等の普及啓発活動及び温室効果排出ガスの抑制であり、必要な事業と考える。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 公共性の高い事業である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 今後もさらに普及啓発活動を継続する。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 市民の事業への意識向上を阻害する恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 太陽光発電システム設置補助は、平成26年度で終了しており、経常経費のみとなっている。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市民全体が対象で公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行通り続行。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 各団体の事業や活動を通して積極的な啓発活動を行い、節電対策取り組みと地球温暖化対策の推進を図る。また、事業用太陽光発電については、固定資産税の特例措置を活用し推進を図る。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 地球温暖化防止対策の必要性について多くの市民に理解してもらえるよう引き続き啓発等を行う。事業用太陽光発電についても、継続して推進を図る。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	霞ヶ浦関係保全事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令
			04	01	06	15		
総合計画体系	第1章 自然と調和した快適なまちづくり						総合計画対象	対象
	第4節 循環型社会の形成						市民協働	共催
	[1] 環境保全・公害						担当課係等	環境保全課
3 水質浄化の推進						環境保全係		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部（D0）

【目的】 霞ヶ浦の水質の現状を認識し、水質浄化の推進を図る。	【関連事業】
【期待される効果】 霞ヶ浦の水質浄化、環境整備促進。	【対象者】 かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会
【全体概要】 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の水質浄化を図るため家庭排水の浄化の推進や広報啓発活動等を実施し、住民福祉の向上を図る。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 霞ヶ浦の水質の現状について理解と認識を深め、水質浄化を図るため家庭排水の浄化の推進や広報啓発活動等を実施。	【平成26年度 事業内容】 霞ヶ浦の水質の現状について理解と認識を深め、水質浄化を図るため家庭排水の浄化の推進や広報啓発活動等を実施。
【平成27年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付。	

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	80	80	80
歳入計（千円）		80	80	80
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	80	80	80
歳出計（千円）（A）		80	80	80
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 -80.1
職員人工数		0.50	0.35	0.44
職員人件費（B）		4,030	2,700	3,498
総事業費（A）＋（B）		4,110	2,780	3,578

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動指標	啓発活動数	回	目標	2.00	2.00	2.00
	水質浄化啓発品配布		実績	2.00	2.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	活動枚数	%	目標	100.00	100.00	100.00
	啓発活動で用意した啓発用品を配布できた割合		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の環境保全是、快適な住環境づくりに必要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 公共性の高い事業である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 家庭排水浄化推進協議会委員と連携をとりながら、霞ヶ浦及び恋瀬川をはじめとする流入河川の浄化に努める。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 霞ヶ浦及び流入河川の環境保全の推進に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業がない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会への補助金支出のみであり、削減の余地がない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の環境保全に関する事業であり、公平公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 田崎 守一 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 霞ヶ浦の水質浄化について、各種団体の事業や活動を通して、積極的に啓発活動に取り組む。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 根本 一良 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ) 担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 水質浄化について、市民の理解協力が不可欠であり、今後も引き続き啓発活動に取り組む。		